



平成14年度建設副産物実態調査結果について

[Home](#)

平成16年2月25日

<問い合わせ先>

総合政策局事業総括調整官室

(内線24523、24553)

TEL: 03-5253-8111 (代表)

国土交通省は、平成14年度に全国の建設工事から排出された建設副産物（注1）を対象として、排出量、再資源化等の状況について調査を行いました。今回、この調査結果がとりまとまりましたので、公表致します。

注1）建設副産物：建設工事に伴って副次的に得られる物品であり、建設発生土（建設工事の際に搬出される土砂）及び建設廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材など）の総称。

調査結果の概要

1. 排出量の動向

平成14年度の建設廃棄物の排出量は約8,300万トン（東京ドーム約48杯分）となりました。これは、平成12年度と比較すると、約2%の減少となっています。

2. 再資源化等の状況

建設廃棄物の再資源化等の状況を前回平成12年度調査と比較すると、次のとおりです。

	平成12年度	平成14年度	増減
建設廃棄物の再資源化等率 ^{注2)}	85%	92%	7ポイント増
アスファルト・コンクリート塊の再資源化率 ^{注2)}	98%	99%	1ポイント増
コンクリート塊の再資源化率	96%	98%	2ポイント増
建設汚泥の再資源化等率	41%	69%	28ポイント増
建設発生木材の再資源化等率	83%	89%	6ポイント増
建設発生木材の再資源化率	38%	61%	23ポイント増
建設混合廃棄物の排出量	484万トン	337万トン	30%減

3. 建設リサイクル推進計画2002の進捗状況

本計画の平成17年度目標値を概ね達成しました。今後、アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊については、現状を維持するとともに、建設汚泥、建設発生木材については、リサイクルを一層推進してまいります。

	平成14年度 実績値	平成17年度 目標値	平成22年度 目標値
建設廃棄物の再資源化等率 ^{注2)}	92%	達成	88%
アスファルト・コンクリート塊の再資源化率 ^{注2)}	99%	達成	98%以上
コンクリート塊の再資源化率	98%	達成	96%以上
建設汚泥の再資源化等率	69%	達成	60%
建設発生木材の再資源化等率	89%	未達成	90%
建設発生木材の再資源化率	61%	達成	60%
建設混合廃棄物の排出量(H12比)	30%削減	達成	25%削減
			未達成
			50%削減

注2) 再資源化等率：建設廃棄物として排出された量に対する、再資源化及び縮減された量と工事間利用された量の合計の割合。なお、再資源化等とは、再資源化及び縮減のこと。

注3) 再資源化率：建設廃棄物として排出された量に対する、再資源化された量と工事間利用された量の合計の割合。

- 参考1 [平成14年度建設副産物実態調査結果](#)
- 参考2 [建設リサイクル推進計画2002の概要](#)



PDF形式のファイルをご覧いただくためには、Adobe Acrobat Readerが必要です。右のアイコンをクリックしてAcrobat Readerをダウンロードしてください（無償）。

Acrobat Readerをダウンロードしても、PDFファイルが正常に表示されない場合は[こちら](#)をご参照下さい。